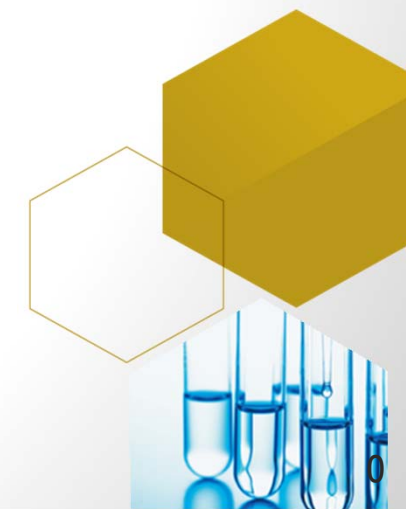
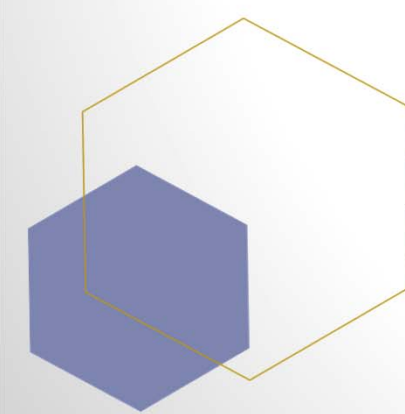



2019年3月期 決算説明資料



 日本高純度化学株式会社

証券コード: 4973

2019年1月30日

電子部品業界の状況

- スマートフォン市場の飽和状態に伴い需要の鈍化傾向が見受けられた。

当社決算の概況

- 底堅いパッケージ基板やスマートフォン向け無電解めっき薬品の販売については、引き続き好調に推移した。
- メモリー向けボンディング用純金めっき薬品及びコネクタ用硬質金めっき薬品の販売については比較的堅調に推移した。
- リードフレーム用パラジウムめっき薬品の販売については、在庫調整の影響に伴い減少傾向が見受けられた。

2019年3月期 第3四半期決算概況

(単位:百万円、%)

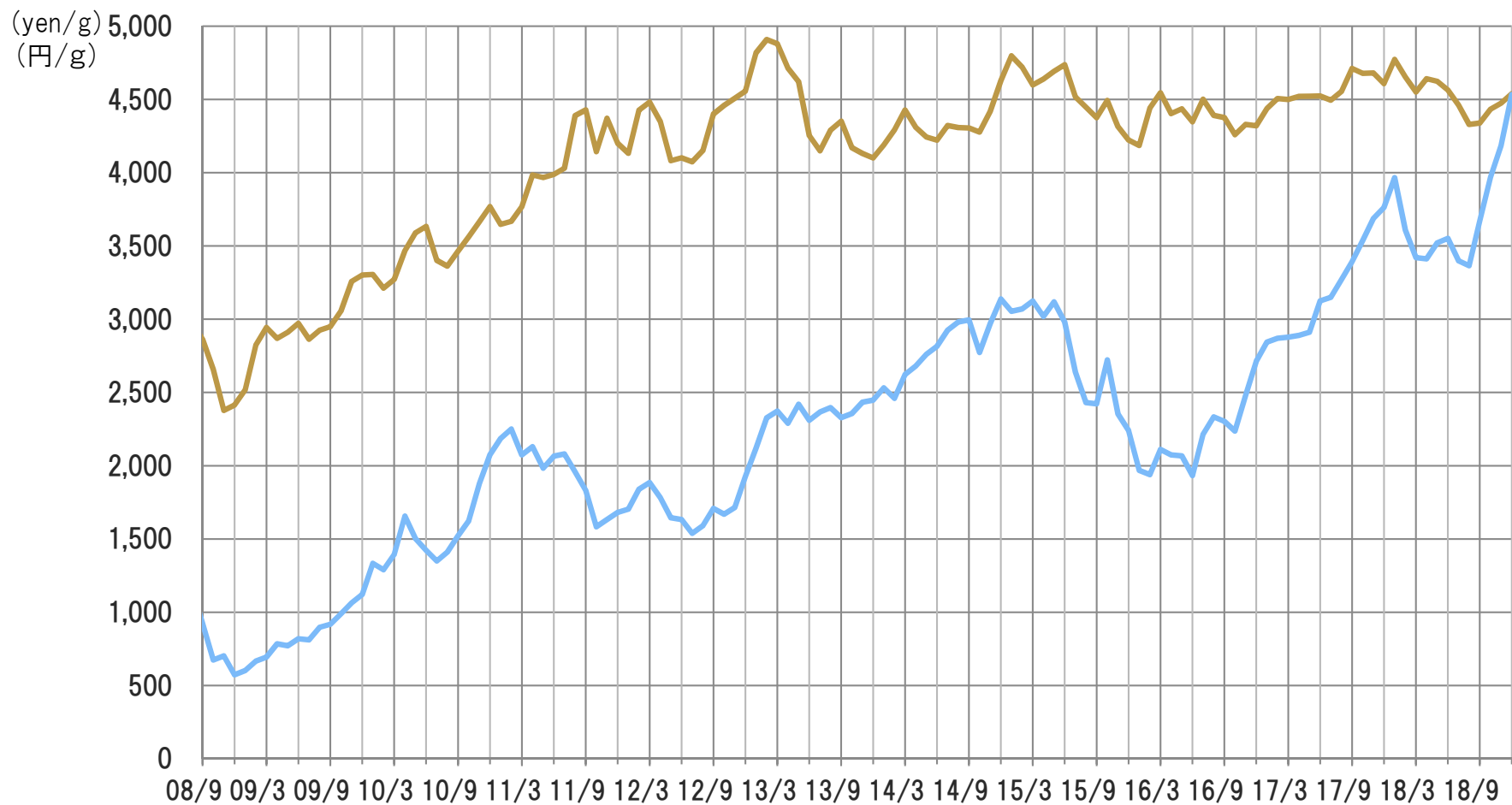
	2018/3期 1Q~3Q	2019/3期					2019/3期予想	
		1Q	2Q	3Q	1Q~3Q	増減率		達成率
売上高	7,864	2,925	2,573	2,553	8,051	2.4	10,200	78.9
営業利益	847	273	276	304	854	0.8	1,130	75.7
経常利益	948	343	282	359	986	3.9	1,230	80.2
純利益	668	251	203	262	718	7.5	860	83.5
1株当たり 当期純利益	116.19円	43.71円	35.32円	45.55円	124.57円	—	149.36円	—

メタル相場推移

Prices of gold and palladium
金、パラジウム価格

Gold
金

Palladium
パラジウム

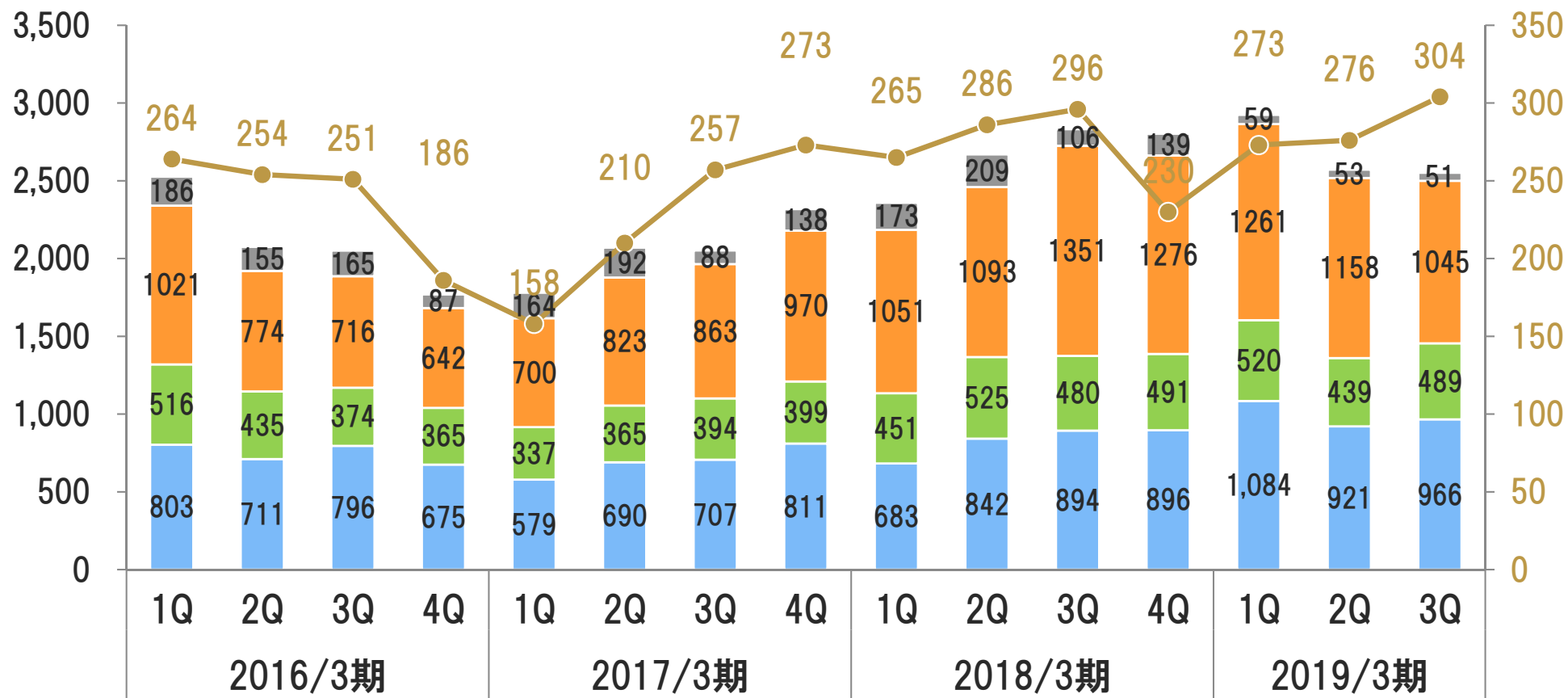


売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

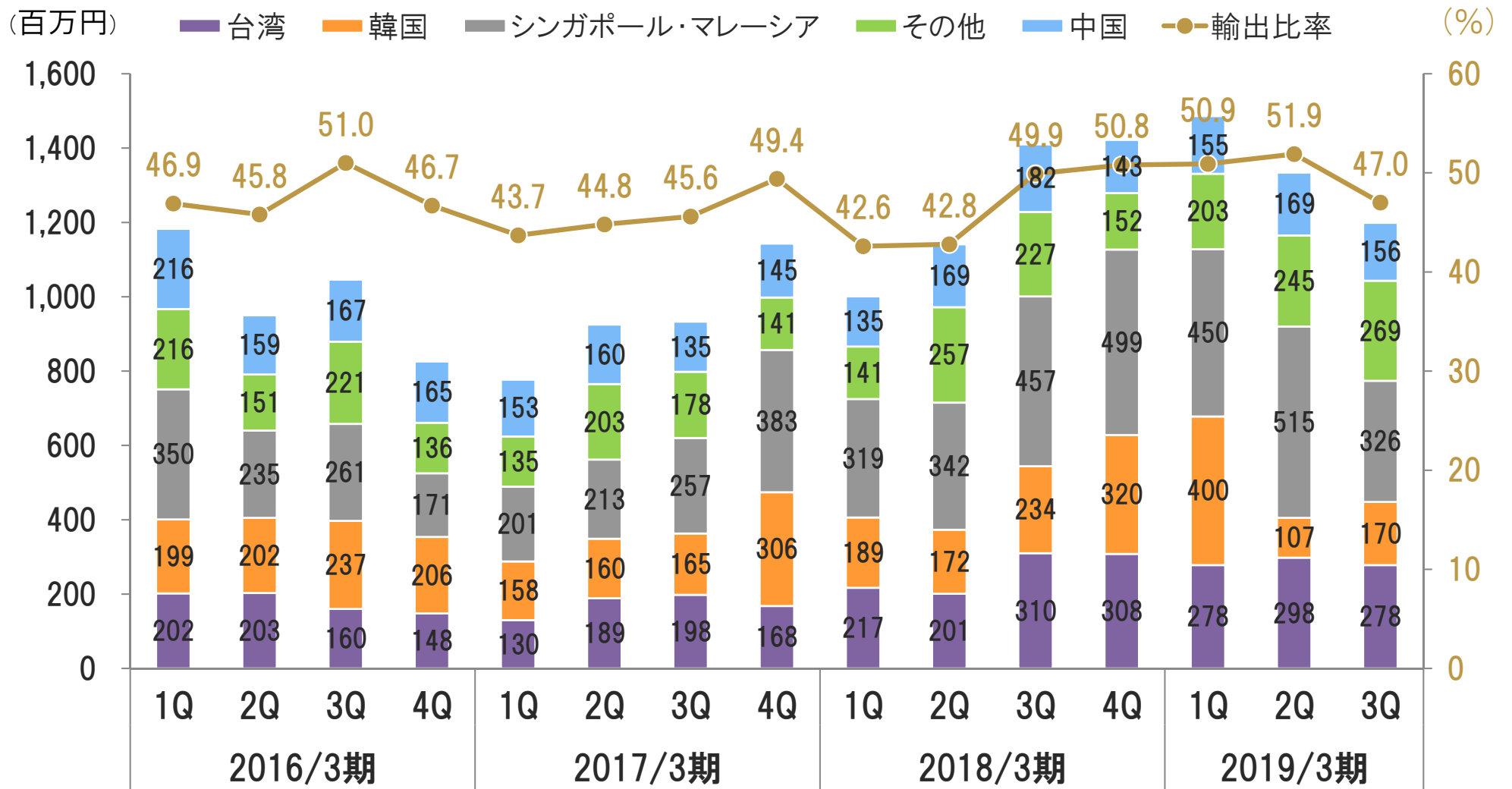
(百万円)

- プリント基板・半導体搭載基板用
- リードフレーム用
- コネクター・マイクロスイッチ用
- その他
- 営業利益

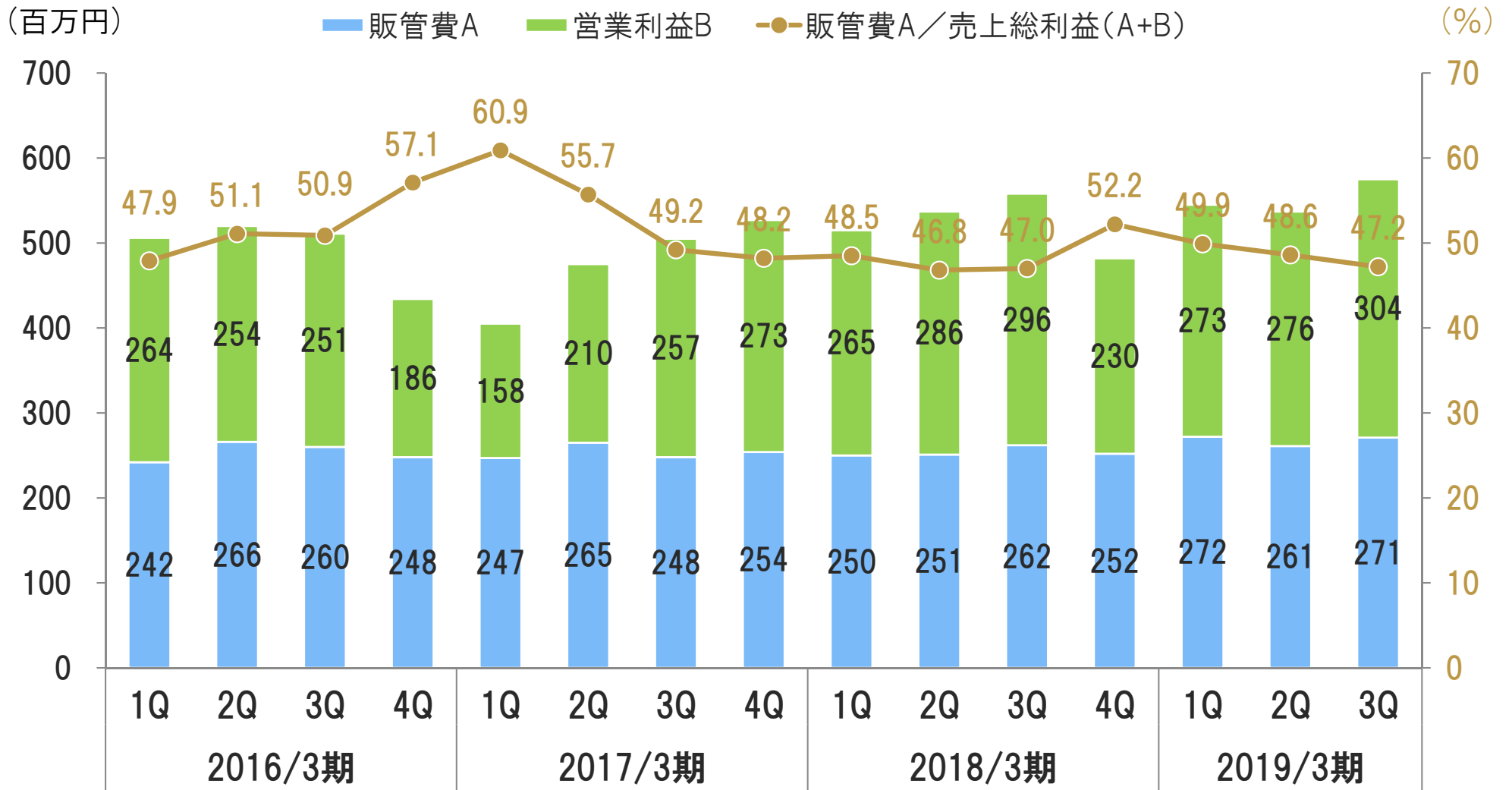
(百万円)



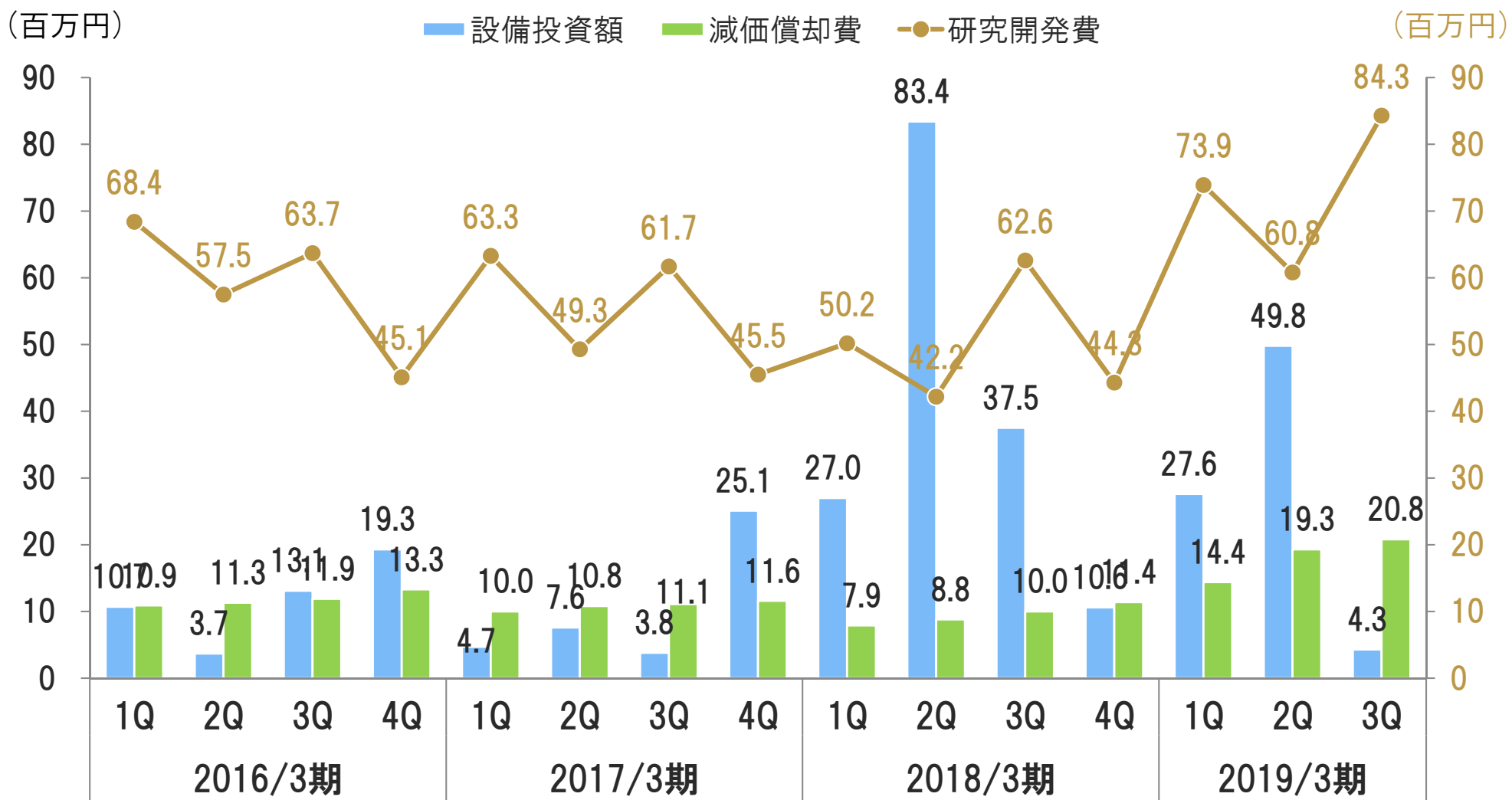
輸出地域別売上高の推移(四半期ベース)



販売管理費および営業利益の推移



設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移



配当政策およびESG情報

1株当たり配当金

(単位:円、%)

	通期	EPS	配当性向
2015/3期	80	131.87	60.7
2016/3期	80	121.31	65.9
2017/3期	80	124.44	64.3
2018/3期	80	144.13	55.5
2019/3期(予想)	80	149.36	53.6

ESGに関する取り組み

- **環境配慮**・・・限られた貴金属資源の有効利用のため、省金製品を顧客に訴求
- **社会貢献**・・・CSRガイドラインを策定し、重点仕入先との共有を図る(2018年内完了)
- **ガバナンス強化**・・・改訂CGコードを踏まえたCGに関する報告書を開示(2018年内完了)

製品ラインアップ ~ラインアップ拡充と新分野開拓~

	めっき方式	用途	製品ラインアップ	
電解	純金		① 粗面上でも均一な膜厚が得られる純金めっき ② 硬度の高い純金めっき	
	硬質金 (金合金)		マイクロコネクタ用省金硬質金めっき オーロブライト BAR7	
	電解Pd		PPF用薄膜パラジウムめっき パラブライト NANO2	
無電解	置換金		低金濃度で使える置換金めっき IM-GOLD FG 下地ニッケルの腐食が少ない置換金めっき IM-GOLD CN	
	還元金		亜硫酸金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD シアン化金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD CN	
	還元Pd		ENEPIG用還元パラジウムめっき ネオパラブライト 2 ダイレクト 還元パラジウムめっき ネオパラブライト DP	
新分野	新分野		後処理剤 合金めっき	還元Snめっき ビアフィルめっき

研究開発型企业としての新技術探索

貴金属めっきにおける固有技術

- めっきされる基材表面を制御する“Protecting Agent”（※）

※特定の金属に選択的に吸着し、電子を供与又は求引する効果によって、めっき反応や皮膜物性をコントロールする一連の有機化合物

卑金属めっきや合金めっきにおける新技術

- めっき膜厚が貴金属めっきの100倍以上になり、めっき皮膜の結晶配向を制御しつつ、大幅な速度向上が必要
- ➡新技術“Charge Transfer Agent”（※）を適用する計画

※めっき液中の電荷を速やかに移動し、めっき反応を促進させる一連の有機化合物

分子構造に“Protecting Agent”や“Charge Transfer Agent”の機能を有する化合物を探索し、次世代の柱となる新製品を開発する。

通期の見通し

(単位:百万円、%)

	2018/3期			2019/3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	10,668	100.0	29.6	10,200	100.0	△4.4
営業利益	1,078	10.1	19.8	1,130	11.1	4.8
経常利益	1,179	11.1	17.6	1,230	12.1	4.3
当期純利益	829	7.8	15.7	860	8.4	3.7

トピックス

- **貴金属パラジウム(Pd)**・・・引き続き地金価格の高騰への懸念からPd含有製品の売上高減少と予想
- **硬質金(金合金)**・・・マイクロコネクタ用硬質金めっきの改良製品の投入により、利益向上を見込む
- **ENIG(置換金)**・・・電子部品の世界の工場として伸長する東南アジア市場にて需要拡大
- **DIG(銅上ダイレクト金)**・・・ENIGに代わる高周波特性・高解像度対応プロセスとして拡販中
- **EPIG(銅上ダイレクトパラジウム/金)**・・・巨大なIoT市場に展開できるよう、技術・営業両面でフォロー中

いずれも業界動向や顧客ニーズに迅速に対応できるよう積極的に拡販活動をおこなっております。



注意事項・免責事項

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2018年12月時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画部

<https://www.netjpc.com>